

● ID3タグについて

曲のタイトル、アーティスト名などID3タグ(MP3用)や、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を使って、保存、表示させることができます。本機はID3v1.0、ID3v1.1、ID3v2.2、ID3v2.3のID3タグに対応しています。また、日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはアルバム名/トラック名/アーティスト名です。

制限事項(表示できる内容)は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層 : 16階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数 : 500(ファイル数+フォルダ数)
- 最大フォルダ数 : 500
- 1カード内の最大ファイル数 : 500
- フォルダ名/ファイル名使用可能文字 : A~Z(全角/半角)、0~9(全角/半角)、
_(アンダースコア)、全角漢字(JIS 第2水準まで)、
ひらがな、カタカナ(全角/半角)

● MP3 / WMA ファイルの作り方について

MP3 / WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

● インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。

音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかかっているものがあります。著作権保護された楽曲は有料、無料にかかわらず本機では再生できません。

● 音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3 / WMA エンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3 / WMA形式のファイルに変換することで、12 cmの音楽CD 1枚(最大74分収録/データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約1/10*¹)になります。(詳しくはエンコーダソフトなどの説明をご覧ください。)

* 1印…ビットレートが128 kbpsの場合。

本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

● SDメモリーカードに書き込む場合

MP3 / WMA ファイルをパソコンのSDメモリーカードリーダー/ライターを介してSDメモリーカードに書き込みます。

お知らせ

- MP3は市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- SDメモリーカードにMP3 / WMA以外のファイルを記録すると、SDメモリーカードの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3 / WMA ファイルの作成方法の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- MP3 / WMA ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイルが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。